



三井住友建設

三井住友建設株式会社
経営企画本部D&I推進部

夏のリコチャレ 2024 実施報告

SUMITOMO MITSUI
CONSTRUCTION CO.,LTD.

報告内容

1 三井住友建設について

2 実施内容

3 参加者の声

4 今後について



会社概要

会社名

三井住友建設株式会社

(Sumitomo Mitsui
Construction Co., Ltd.)

創立

2003 年

(設立 1941年)

女性社員数

466名



2024年3月時点



社員数

単体

2,963名

2024年3月時点

グループ人数

(海外拠点社員含む)

5,522名

2024年3月時点



国内外拠点

国内支店

13支店

海外事務所

8拠点

現地法人

8法人

外国籍社員数

53名



2024年3月時点

事業概要

土木



主な事業 **PC橋梁** **トンネル** など

建築



主な事業 **住宅** **商業施設** など

海外



事務所 **バンコク** **カンボジア** など

新規・ 建設周辺



主な事業 **水循環式バイオトイレ** など

テーマ はし・ビルのふしぎ発見



案内ポスター



会場の様子

日時

2024年8月8日 13:30~15:30(2h)

場所

三井住友建設(株)本店 大会議室

参加者

7家庭 計16名
 内訳) 小学生 7名 中学生 1名
 未就学児 1名 保護者 7名

当日の流れ

| | |
|-------|-------------|
| 13:30 | 挨拶・説明 10分 |
| 13:40 | 座学 15分 |
| 13:55 | 体験コーナー 80分 |
| 15:15 | 集合写真・閉会 15分 |
| 15:30 | |

2

実施内容

座学

「博士おしえて！」コーナー

3つの分野の博士(社員)がクイズを交えて説明

挨拶・説明 10分

座学 15分

体験コーナー 80分

集合写真・閉会 15分



BIM博士



はし(橋)博士



コンクリート博士

2 実施内容

体験コーナー

挨拶・説明 10分

座学 15分

体験コーナー 80分

集合写真・閉会 15分

① VR・BIM体験



3 チームに分かれて
3 つのコーナーを回る

③ 3Dスキャナ ・360度カメラ体験



② アーチ橋ブロック体験



VR 体験



VRゴーグルを装着し、**構造物の3Dモデル**や**実際のトンネル現場3D動画**を体験

BIM 体験



BIMとは、Building Information Modelingの略。**コンピューター上に現実と同じ建物の立体モデル（BIMモデル）**を再現するシステムを体験

体験コーナー② 【アーチ橋ブロック体験】

アーチ橋とは



クイズ形式でアーチ橋の構造や作り方について説明

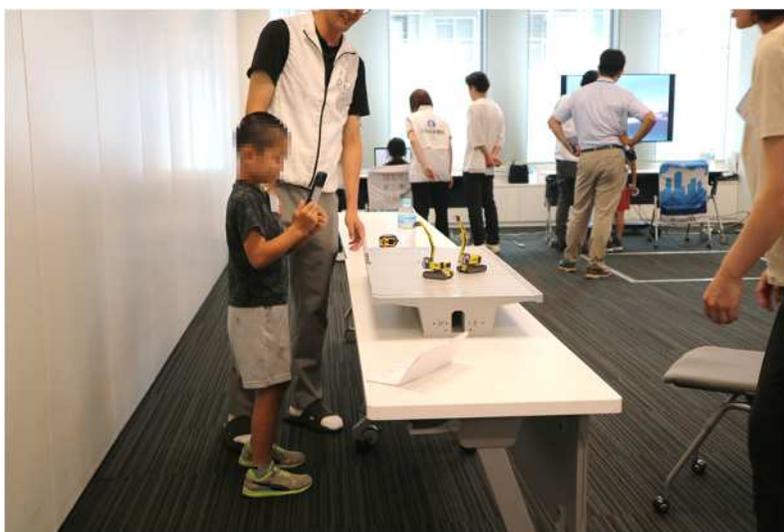
※アーチ橋：弓なりの形状をした橋

作ってみよう



ブロックを使い、実際にアーチ橋を作成

3Dスキャナ体験



簡易の3Dスキャナを用いて、**橋梁模型をスキャン**する体験。読み取ったデータは、3Dモデルとして確認

※3Dスキャナ：実際の物体をデジタルデータ化する機械
実際の現場でも橋梁の出来形確認等で用いられています

360度カメラ体験



360度カメラを用いて、**集合写真や動画**を撮影。その様子をタブレットで確認

※360度カメラ：360度全方向を撮影するカメラ
VR動画の撮影等に用いられています

ノベルティグッズ



当社のノベルティ（会社案内・クリアファイル等）を配布

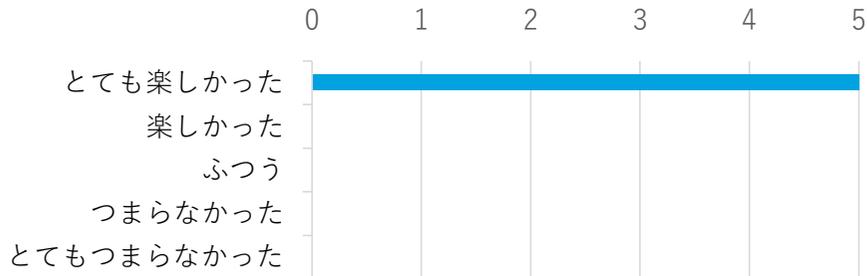
記念撮影コーナー



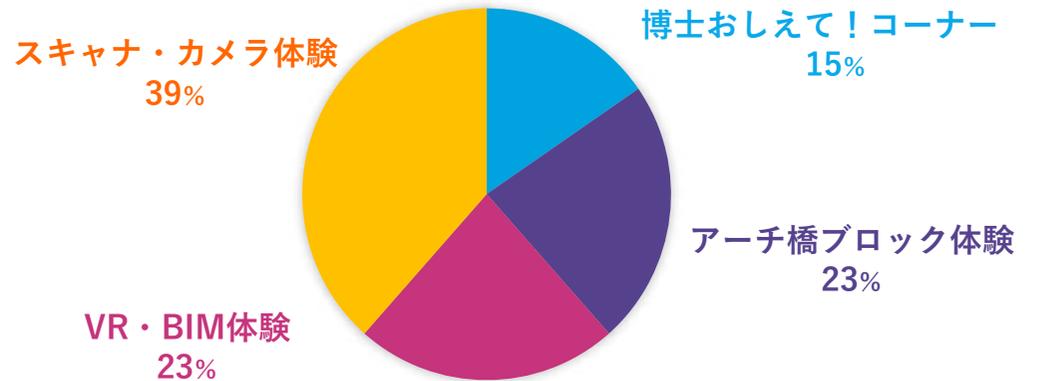
会場の一部に撮影コーナーを設置。当社作業着を着用して記念撮影

リラックスして参加してもらえるように、終始盛り上がるBGMを流しました！

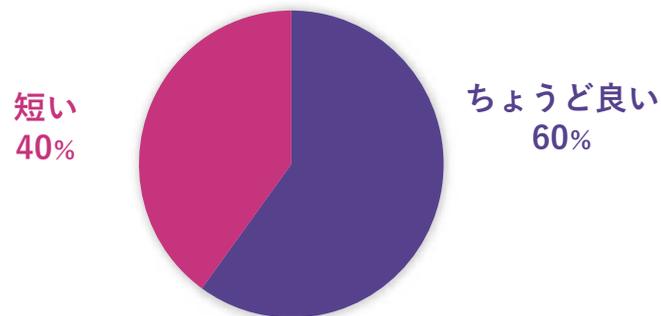
Q. 今回のイベントは楽しかったですか？



Q. 楽しかった内容を選択してください (複数回答)



Q. イベント全体の時間はいかがでしたか？



Q. 感想やご意見はありますか？



課題

- ・ 企画、募集の**時期が遅くなり**
予定していた定員を割る結果となった
- ・ 参加者全員がすべての体験を行うことは
想定していなかったが、参加者からは、
全部を体験したいという意見があった



今後について

- ・ 次回は、本店開催のイベントを**早い段階**
で企画する予定
- ・ 参加者全員がすべての体験を行えるよう
に、**時間配分や体験内容を工夫**する

最後に

今回のイベントでは、たくさんの笑顔や感動に触れることができました。
また近隣の方に多く来ていただき、建設業や理工系分野について知ってもらう良い機会になりました。
これからも、理工系分野にチャレンジしたいと思える機会を設けていきたいと考えます。

ありがとうございました

